

## 第178回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和5年3月16日（木）16：45～16：54
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

### （1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

#### 【資料1】

昨日の新規陽性者数は、175人です。

3月3日以降、前の週の同じ曜日を下回ってきましたが、一昨日から2日続けて先週の同じ曜日を上回っております。

次に、4ページ。

15日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、96人です。

このうち、重症者が3人となっております。

なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は143人です。

宿泊療養施設入所者数は、37人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、74.19人。

3月6日以降、100人を下回る水準で推移しております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、12.5%。

引き続きレベル1の水準となっております。

次に、11ページ

「重症者用の病床使用率」が、6.5%、

発熱外来患者の状況を示す「一週間の医療機関報告新規陽性者数」が、1,121人となっております。

インフルエンザが流行期に入っていることや「保健医療の負荷の状況」等を総合的に勘案すると、引き続き「レベル2」と考えております。

次に、資料はございませんが、宿泊療養施設については、現在10カ所を運用しており

ます。

そのうち、福島市、郡山市、いわき市のそれぞれ1カ所ずつの3カ所の運用を3月末で終了し、4月からは7カ所、814室の運用を継続してまいります。

## (2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をお願いします。

### 【資料3】

3月14日時点の接種実績については記載のとおりとなります。

このうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、累計で、994,713回、全人口に対する接種率は54.0%、全国における接種率44.3%を9.7ポイント上回っております。

次のページをお願いいたします。

今後の新型コロナワクチンの接種について、主な内容を御説明いたします。

特例臨時接種の期間が1年間延長され、引き続き、自己負担なしで接種を受けることができます。

一方で、現在行われているオミクロン株対応ワクチンを使用した「令和4年秋開始接種」は5月7日で終了し、5月8日からは、65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する重症化リスクの高い方、医療機関、介護施設などの従事者等を対象とした「令和5年春開始接種」が行われます。

また、9月からは、5歳以上の全ての方を対象に「令和5年秋開始接種」が行われる予定となっております。

このため、「令和5年春開始接種」の対象とならない12歳以上の方で、令和4年秋開始接種を受けていない方は、令和5年秋開始接種まで、ワクチンを接種できないこととなりますので、御注意ください。

なお、生後6カ月から4歳までの乳幼児を含む、初回接種を受けていない方は、引き続き、従来型ワクチンによる接種を受けることができます。

(金光教授)

先だって、赤十字の研究が公表されました。

福岡県、沖縄県で最も感染者が多くて県民の6割が感染しているということは、抗体の動きからわかったそうです。

そして最も少ないのは岩手県、そして2番目が我々福島県ということで、約3割の方が

感染しているということです。

これは日頃から福島県民の皆様がしっかりと感染対策をやっていただいている証だと私は思っています。

この場を借りて御礼を申し上げたいと思います。

ただし、これは裏を返せば、多くの人間が急激にマスクを外すことになると、感染者が多く出ることにもつながることを決して忘れないでいただきたいと思っております。

(知事)

全国の新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を下回る日が続き、4千人を下回る日も見られるなど、減少傾向が続いています。

本県においても、新規陽性者数は減少傾向にあります。今週に入り、前の週の同じ曜日を若干上回る日が続いています。新規陽性者数の減少傾向を維持していくためにも、県民の皆様には、引き続き感染対策の徹底をお願いします。

今週13日から、マスクの着用については、屋内・屋外を問わず、個人の判断が基本となりました。しかし、ウイルスの特性は変わりません。お一人お一人が感染リスクや重症化リスクを正しく理解した上で、必要性が高い場面では、引き続きマスクを着用することが有効です。

特に、高齢者等への感染を防ぐため、医療機関の受診時や高齢者施設等への訪問時、混雑した乗り物の中などでは、引き続き着用することが推奨されています。また、重症化リスクのある方が感染流行期に混雑した場所に行く場合にも、マスクの着用が効果的とされています。

なお、事業者の方から感染対策上の理由等によりマスクの着用を求められた場合は、御協力をお願いします。

一方、様々な理由から、マスクを着用できない方や、マスクを着用する必要がある方もおられますので、県民の皆様お一人お一人の思いやりのある行動をお願いします。

マスク着用のルールは見直されましたが、感染対策が不要になったわけではありません。引き続き、「3密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気の励行」といった基本的な感染対策の徹底をお願いします。

また、陽性者の療養期間や濃厚接触者の自宅待機期間、コロナワクチンの接種についても、取り扱いに変わりはありませんので、引き続き御協力をお願いします。

なお、今後の新型コロナウイルスの接種について、オミクロン株対応ワクチンによる接種は、5月8日から対象者が限定されます。このため、これから接種を希望される方のう

ち、特に12歳以上の健常者の皆様は、秋まで接種できなくなりますので、5月7日までにワクチンを接種してください。

先ほどお話ししましたように、現在、本県の新規陽性者数は減少傾向にあります。

この傾向を継続していくためには、今後も県民の皆様お一人お一人が気を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底や、ワクチン接種など、感染対策を続けていくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。